

2021年10月

ワクチンパスポート取得体験記

北陸銀行バンコク駐在員事務所
岩本潤一

バンコクから新千歳空港への直行便が休止となってから、1年以上経ちました。多くのタイ人は、以前のように北海道に気軽に行き来できるようになるのを待ち望んでいます。現在、タイ人がビザ免除で日本に滞在できるのは15日間です。14日間の自主隔離期間を考慮すると、タイ人がビザ無しで北海道に行くのはほぼ無理です。

今回、私は、2回目のワクチン接種を完了したタイミングで、タイ政府発行のワクチンパスポートを申請、取得したので最新情報をレポートいたします。

1. ワクチンパスポートの効力について

ワクチンパスポートをめぐるのは、当初、隔離等の制限なしで海外への入出国が可能になるなどの憶測が流れました。現在、タイ政府発行のワクチンパスポートを保有していても、日本を含む諸外国への入国に際して隔離措置の緩和が受けられる国はないようです。(8月24日最終更新、在タイ日本大使館ウェブサイトより)

それでも、いずれなんらかのメリットが得られるようになるだろうとの期待が大きいのか、バンコクおよび隣県に3カ所ある申請場所は、連日、取得のため訪れる人で行列が出来ています。

2. ウェブサイトでの申請とその後の状況

在タイ日本大使館のサイトで紹介されている3カ所のうち、事前予約がウェブを通じて英語でできるのは、バンコクから40分、隣県ノンタブリーの伝染病管理局です。予約サイトは、一日の受付の上限が150人までというので、ワクチン接種後すぐに1週間後の日時を予約しました。

申請は、氏名、性別、生年月日、パスポート番号、電話番号等の情報のほか、パスポートの顔写真のページと2回のワクチン接種証明書をスキャンしたファイルを添付します。その後、申請後の受付の状態を随時、この予約サイトで確認することができます。

申請後、自分の予約サイトを確認すると「受付中」と表示され、しばらく変化がありませんでした。予約日の前日に確認したところ、「あなたの接種証明書に記載されているQRコードには、1回目の接種記録しかありません。」という赤い注意メッセージが表示されました。予約日当日、私のオフィスのタイ人スタッフを通じて、伝染病管理局

に「接種証明書原本には、確かに2回の接種記録が記載されており、システム上記録が反映されていないだけだ。」説明しました。伝染病管理局のスタッフには、「とりあえず、パスポートと接種記録原本を持参しなさい。」と言われました。

3. まさかの発行拒否と突然の発行承認、取得

伝染病管理局に到着すると、多くのタイ人、外国人が、番号札をとり間隔を空けて順番を待っていました。時間指定の予約をしたにもかかわらず、待つこと40分ほど、受付が始まりました。指示された通り、パスポートと接種証明書のコピーに署名するとオフィシャルスタンプが押印され、同じ建物の5階にこれらを持参して手続きするように言われました。5階の受付では、さらに30分待つように指示がありました。

しばらく待っていると、伝染病管理局の女性職員が、「あなたの接種証明書のQRコードでは、1回の接種記録しかない。ワクチンパスポートの発行は、今日はできない。」と言いに来ました。ここまで来て、しかも事前の電話では書類を確認できれば良さそうな含みがあったことから、私も何とかならないかと粘りました。押し問答が10分以上続き、私に同行してくれたタイ人スタッフも困り顔でした。私が最後に、「この接種証明書は、タイ政府機関が公式に発行していますね。この公式証明書に、1回の接種記録しか反映されないQRコードと2回接種した証明が同時に記載されているのをどう説明しますか。」と接種証明書の原本を示しました。すると、女性職員は、「この証明書原本をこちらがもらっていいか。それなら発行できる。」と態度を一転させました。私のタイ人スタッフはあっけにとられ、「手続きはすべて接種証明書のコピーにオフィシャルのスタンプを押印しておこなわれているのに。」と納得がゆかない様子でした。

4. おわりに

とりあえず、ワクチンパスポートを発行はしてくれましたが、発行者側としては原則はQRコードの記録が絶対なのかもしれません。また、ワクチン接種証明書を没収されたのは、私だけだったかもしれません。いずれにしろ、今回、政府のワクチン接種管理にシステムが追いついていないことなどいろいろなことがわかりました。

現在、一部のスポーツ施設などは、ワクチン接種証明アプリや接種証明書の記録の提示を求めているところがあります。飲食店の従業員、利用者にもワクチン証明義務の導入が議論されているなか、今後、われわれ外国人もこれらに対応していかななくては生活に支障が出てきそうです。

以上